

編集後記

暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。先の西日本の豪雨被害では多数の方が亡くなられ、また被災されました。心が痛みます。深く哀悼の意を表しますとともに、心からお見舞い申し上げます。また、当該府県の先生方におかれましては、自らも大変なご苦勞をなされながらも、現在も被災した方々を含め多くの患者さんの治療に当たられていることと拝察します。くれぐれも体調管理にはご注意ください。所詮微力ではありますが、何か我々でお手伝いできることがあれば遠慮なく『眼科』編集部にご連絡ください。

今月号の特集は、“強度近視を治療する”です。難治の病態ですが、あえて“治療する”というタイトルになっているところに、この特集の意気込みを感じます。前を向いて少しでも前進していこうという姿勢は大切です。執筆陣もその分野での一流の方ばかりで、さすがに非常にタイムリーな読み応えのある内容となっています。総説は、内野先生によるドライアイと厚東先生による飛蚊症の話題です。これまた日常診療で非常によく遭遇する疾患が取り上げられています。

若手の専門家による力強い内容です。このような定番(?)の疾患においても、考え方や対処法が日々変化していきます。ただ、現在の潮流にやみくもに乗っていかうとして振り回されるのは賢くないと考えます。本総説を熟読されしっかりとした偏りのない知識を身に付けていただきたいと思います。シリーズ「機器・薬剤紹介」は宇治先生による Canon の最新 OCT の話題です。加算平均された OCTA の画像がとても美しいです。飯島編集委員による網膜静脈閉塞症のシリーズでは、今回は治療開始時期の考察がなされています。先生のようなエキスパートの御見解が明確に示されており、とてもためになります。「眼瞼を診る」では、角膜フリクテンとマイボーム腺炎の意外な関係が解説されています。さらに今回は「原著」がひとつ、「臨床報告」がひとつ掲載されています。『眼科』ではもっとたくさんの論文を掲載したいと思っています。本誌は掲載料がカラー印刷であっても無料です。本誌の紙面をどんどん活用していただければ幸いです。

(富田剛司・記)

編集：飯島裕幸・富田剛司・坪田一男・後藤 浩・雑賀司珠也・門之園一明・三村 治
編集顧問：所 敬・小口芳久・白井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治

「眼科」 第60巻 第8号 8月号

2018年8月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-3513-6969、FAX：03-3513-6979、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。